

2026年6月3日

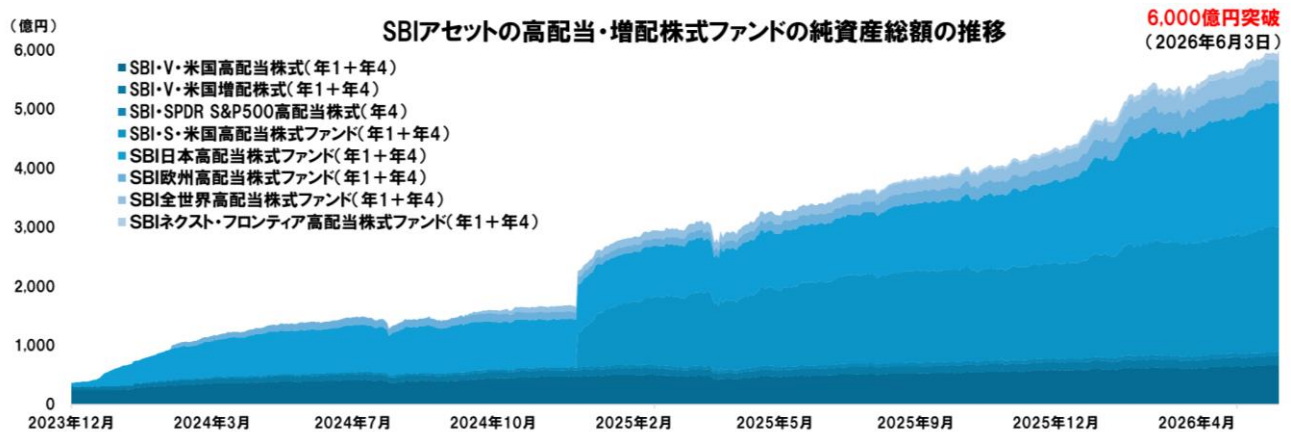
商 号 SBIアセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第311号  
 加入協会 一般社団法人資産運用業協会

## SBIアセットマネジメントが運用する高配当・増配株式ファンドの 純資産総額合計 6,000 億円突破のお知らせ

SBIアセットマネジメント株式会社（以下「SBIアセット」）が運用する高配当・増配株式ファンド15本<sup>※1</sup>の純資産総額の合計が、2026年6月3日に6,000億円を突破しました。

SBIアセットでは、2021年を皮切りに高配当・増配株式ファンドのラインアップの拡充を進めてまいりました。配当利回りに着目し、高水準のインカムゲインと中長期的な値上がり益の獲得によるトータル・リターンを追求するという運用コンセプトと、低コストでのご提供が、投資家の皆さまからご支持をいただき、今回の突破につながったと考えております。

主力ファンドとして、「SBI日本高配当株式（分配）ファンド（年4回決算型）」は純資産総額約2,077億円<sup>※1</sup>と、国内の配当重視型公募投資信託の中で第3位<sup>※2</sup>の残高に成長しました。「SBI・S・米国高配当株式ファンド（年4回決算型）」も約2,106億円<sup>※1</sup>まで拡大し、「SBI欧州高配当株式（分配）ファンド（年4回決算型）」は欧州株式を主要投資対象とする同カテゴリーにおいて第3位<sup>※3</sup>の残高を有しております。さらに、上記各ファンドはアクティブ運用でありながら業界最低水準のコスト<sup>※4</sup>を実現している点も大きな特長です。



こうした支持の拡大を支えるのが、ラインアップの特徴である年4回決算型ファンドの充実です。高配当・増配株式ファンド全15本<sup>※1</sup>のうち、8本<sup>※1</sup>が年4回決算型であり、各ファンドの決算月を分散させて設計しております。これにより、投資家ご自身の資産配分を設計しやすくなるとともに、複数ファンドを組み合わせれば年間を通じた毎月分配の受け取り設計も可能となるなど、幅広い投資家ニーズに柔軟にお応えする利便性の高い商品性となっております。

今後も「顧客中心主義」のもと、良質かつ低コストの運用商品を提供すると共に、投資家の皆さまの最適な資産形成に貢献してまいります。

以上

※1：2026年6月3日時点。

※2：国内公募追加型株式投信（DC、SMA、ETF除く）のうち、国内株式型（2026年4月時点でウェルズアドバイザーの国内大型・中型・小型のバリュー・ブレンド・グロース計9カテゴリー）に属し、ファンド名に「配当」を含むファンドが対象。純資産残高は2026年5月29日時点。

※3：国内公募追加型株式投信（DC、SMA、ETF除く）のうち、2026年4月末時点でウェルズアドバイザーのカテゴリー「国際株式・欧州（F）」、「国際株式・欧州（H）」に属する42本を対象に集計。純資産残高は2026年5月29日時点。

※4：ウェルズアドバイザー株式会社のデータをもとにSBIアセット調べ。国内公募追加型株式投信（DC、SMA、ETF除く）対象。各ファンドの主要投資対象において調査。

\*\*\*\*【本件に関するお問い合わせ先】\*\*\*\*\*

SBIアセットマネジメント株式会社 商品企画部 電話：03(6229)0170

（金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第311号、加入協会：一般社団法人資産運用業協会）

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

## 投資信託にかかるリスク

本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産には為替リスクもあります。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆様様に帰属します。

また、投資信託は預貯金と異なります。本ファンドの基準価額の主な変動要因や留意点としては以下のものがありますが、以下に限定されるものではありません。詳しくは各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご確認ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

### 主な変動要因

- 株価変動リスク
- 為替変動リスク
- 信用リスク
- 流動性リスク
- カントリーリスク

### その他の留意点

- ・ 本ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・ 本ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待される価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- ・ 有価証券の貸付取引を行う場合は、取引先リスク(取引の相手方(レンディング・エージェントを含みます。))の倒産等により契約が不履行になることが生じる可能性があります。
- ・ 投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- ・ 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- ・ 益分配金の水準は、必ずしも計算期間における本ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- ・ 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・ 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ・ 本ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。当該運用方式には運用の効率性等の利点がありますが、投資対象とするマザーファンドにおいて、他のベビーファンドの資金変動等に伴う売買等が生じマザーファンドの組入れ有価証券に売買等が生じた場合等には、本ファンドの基準価額は影響を受けることがあります。

## お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 ありません

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 ありません

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬(2026年6月3日現在):  
年0.055%(税込)程度~0.1338%(税込)程度  
※成功報酬制はありません。

### ● その他の費用

ファンドの監査費用、有価証券等の売買委託手数料、保管費用等本ファンドの投資に関する費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用(法律顧問・税務顧問等への報酬を含む)、開示書類等の作成費用等(有価証券届出書、目論見書、有価証券報告書、運用報告書等の作成・印刷費用等)が信託財産から差引かれます。

\*これらの費用は監査費用を除き運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。

## 投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。